

# 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

## 工夫している点・改善目標

### 環境・体制整備

#### 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保

- ・スペースは十分確保できている。
- ・体育指導や音楽療法等、身体を動かせる広いプレイルームがある。
- ・その他目的に合わせたスペース（勉強、休憩等）がある。

#### 職員の適切な配置

- ・常勤職員で配置＋アルバイト職員の配置で対応している。

#### 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備

- ・勉強・休憩・自由に遊べる部屋等、目的に合わせたスペースがある。
- ・室外はエレベーター利用で上下移動が可能。
- ・室内はバリアフリー。

#### 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保

- ・活動や遊びに合わせた空間の確保。
- ・小部屋はドアで仕切られている。

### 業務改善

#### 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画

- ・意見交換や話し合いを積極的に行っている。
- ・課題にどんな事にも振り返りを目標にあげて、発見を早くする声掛けを行っている。

#### 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施

- ・行っていない。

#### 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保

- ・参加可能な研修には積極的に出席している。
- ・交代時間を利用して毎日報告し話し合う。

### 適切な支援の提供

#### アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成

- ・子どもの課題を職員全員で確認し作成する。
- ・保護者との関わりは即出来る体制にしている。
- ・個々に活かせる様にしている。

#### 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成

- ・個別支援計画を作成するにあたり、全体会議を行っている。
- ・会議の他、日々の記録や話し合いを大切に計画書の作成を心掛けている。
- ・異年齢児との関わりを活かして、新しい発達を見い出せる様工夫をしている。

# 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

## 工夫している点・改善目標

### 適切な支援の提供

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載

- ・連絡ノート等で工夫をし全員が把握する。
- ・簡潔に伝わるように工夫した上で、必要であれば口頭で保護者とコミュニケーションを取り補足している。

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施

- ・全員で話し合い、納得のいく計画を組み入れ日々行っている。

チーム全体での活動プログラムの立案

- ・立案後、みんなで全体を見直している。
- ・その日、その時、人数や子どもの様子を見て工夫をする様に考えている。

平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援

- ・個人に合わせたプログラムで家庭と連携している。
- ・家庭支援は1日の生活リズムを大切に、療育と繋げて頑張るアドバイスをしている。

活動プログラムが固定化しないような工夫の実施

- ・発達の中で小さな芽を見落とさない様工夫をして繋げている。

支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底

- ・気になる様子がある場合は即報告する。
- ・最初に担当を決めてはいるが、気になる事がある場合は即報告しアドバイスをもらう。
- ・のちに皆で話し合いをしてまとめて確認し合う。

支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化

- ・その日の気付きはミニ職員会議等で話し合いを共有している。

日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施

- ・日々の事は個人ノートに記録し、必要な所に印を付けて分かりやすくし皆で共有している。

定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し

- ・前もって細やかな聞き取りをし、私たちの意見を活かせる様に取り組んでいる。
- ・年に1～2回行っている。

### 関係機関との連携

子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画

- ・学校、事業所等は必要に応じて参加をしている。

# 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

## 工夫している点・改善目標

### 関係機関との連携

(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)  
地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施

・なし

(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)  
子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備

・なし

児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有

- ・見学の受け入れは行っている。
- ・必要な時には相談に応じ行っています。

放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供

- ・必要な時は応じています。

児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進

- ・開催がある時は出席をし、受講をしている。

児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供

- ・コロナ禍のため、これからの課題にしている。

事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営

- ・コロナ禍のため、これからの課題にしている。

### 保護者への説明責任・連携支援

支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明

- ・入所時や、質問があった時など、必要に応じて行っている。
- ・請求明細は利用者全員に渡している。

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明

- ・支援の内容を詳しく伝え、活動の方向性をその都度伝えている。
- ・質問があれば、保護者が納得されるまで何度でも説明している。

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施

- ・必要に応じてその都度行っている。
- ・どうして良いか分からないという質問があれば、その都度子ども目線で説明をし家庭と一緒に頑張る。

# 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

## 工夫している点・改善目標

### 保護者への説明責任・連携支援

子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底

- ・連絡ノートを活用し、必要事項を記入の上、会話でコミュニケーションを取っている。
- ・送迎時を利用してアイデアで課題を共有している。

保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施

- ・メール・電話等でゆっくりと話を聞いて、助言に心掛けている。理解しにくい場合は、対話で時間をかける。

父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援

- ・行っていない。

子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応

- ・体制の整備は一応出来ている。
- ・小さな事を見落とさないようにし、その日のうちに即報告即対応を心掛けている。

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮

- ・ブログ・連絡ノート・メール・写真等を活用している。
- ・送迎時にも口頭で行っている。

定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信

- ・ブログ・連絡ノート・メール・写真等で発信している。

個人情報の取扱いに対する十分な対応

- ・十分配慮している。
- ・利用者から更なる要望があった場合は即対応している。

### 非常時等の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底

- ・現在見直しをしている。
- ・出来た分から署名をしてもらっている。

非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施

- ・警報時の避難の場所を決めており、通知をしている。
- ・避難訓練を定期的に行っており、今後も続けていく。
- ・見直し分作成中。

虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応

- ・カメラ等で記録している。
- ・その都度話し合いをする。
- ・2人以上で対応している。

# 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

工夫している点・改善目標

## 非常時等の対応

やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載

- ・全職員が、理解・了解を得られるように努力している。
- ・発生したらその日に連絡し、双方の理解を説明する。

食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応

- ・指示通り全員が理解し、行っている。

ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底

- ・スピーディーに対応し、全員が把握し理解している。
- ・常に報告を行い、環境整備や人員配置等、改善すべき点を話し合っている。
- ・共に理解し、全員で対応する。
- ・事態を話し合い事前の原因を見付け、反省を促し記録に残している。